

# 2014年度 國學院大學法科大学院

## 《I期法律科目試験》

# 刑 法

### ● 注意事項

- 1 試験時間は、9時30分から10時30分までです。
- 2 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 3 解答用紙への記入は、黒もしくは青インクのボールペンまたは万年筆（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）を使用してください。これ以外のものを使用した場合は、無効となります。
- 4 訂正をする場合は、明確に線で消してください。修正液等は、使用しないでください。
- 5 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の印刷不鮮明等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入してください。
  - ① 受験番号
  - ② 氏名
- 7 問題の内容に関わる質問については、お答えできません。
- 8 「六法」は、貸与する『ポケット六法』以外使用できません。また、毎試験終了後、『ポケット六法』は回収します。
- 9 解答中に解答用紙を毀損した場合、手を挙げて監督者に知らせてください。監督者の確認後、新しい解答用紙と交換します。
- 10 携帯電話等は、時計としての利用も認められていません。必ず電源を切り、鞆などの中にしまっ、身につけないでください。
- 11 試験開始後、終了まで原則として退室は認めません。
- 12 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。いかなる理由でも解答用紙は、持ち帰ることはできません。
- 13 体調が悪い場合は、手を挙げて必ず監督者に伝えてください。

A、Bの罪責ならびに罪数を論じなさい。

#### 【事実の概要】

A、B（夫婦）は、以前から数回にわたって、Vから借金を繰り返していたが、平成24年10月15日に支払期限が迫った300万円の工面ができなくなった。そこで両名は、進退に窮し、A（妻）がB（夫）に対して、Vを殺害し、債務の支払いを免れようと提案した。Bは、当初、その計画に消極的であったが、いろいろ悩んだあげく、結局、他に手段もないと思い、Aの計画に同意した。その内容は、Vに睡眠薬を飲ませて眠らせ、その後、農薬を喉（のど）に流し込んで殺害するというものであった。

10月12日、Aは、薬局で睡眠薬、ホームセンターで家庭用農薬を購入した。翌日、両名は、あらかじめ準備しておいた、グレープフルーツジュースに睡眠薬を混ぜた飲料と農薬を携えて、V宅に赴いた。Aは、これは手製の精力剤だと偽って、グレープフルーツジュースをVに勧めた。それを飲んだVは、しばらくしても眠る様子はなく、嘔吐を繰り返すようになった。Aは、嘔吐に苦しんでいるVに、「この薬を飲めばよい」と言い、Vに無理やり農薬を飲ませた。両者は、30分ほど、Vの様子を伺っていたが、Vは「腹が痛い」と訴えるものの、それ以上の症状は現れなかった。Bは、Aに、「まだまだ時間がかかるかもしれない。この後の様子は自分が見ているから、いったん家に帰って待っている。」と告げ、Aは、その言葉に従って、自宅に戻った。

Bは、その後もVの様子を伺っていたが、Vは相変わらず嘔吐を繰り返すのみであった。Bは、その様子を見ながら、「このままではVは死なない。そうなれば、自分たちの犯行がばれてしまう。計画は狂ってしまったが、やはり、Vを殺すしかない。」と考え、持っていたカッターナイフで、腹痛で七転八倒しているVの頸部に切りつけた。その結果しばらくして、その場でVは失血死した。

自分が立ち去った後の事情をBから携帯電話で聞いたAは、事の成り行きに驚きはしたが、直後にV宅に戻り、Bとともに、Vの死体を自家用自動車に運び込み、あらかじめ決めていた、V宅から30キロメートル離れた山林に死体を投棄した。